



館内の400年湧き続ける井戸水が流れ入る池には美しい錦鯉が優雅に泳いでいる。

History

料亭 蔦茂（愛知県名古屋市）

- 1913年 正雄氏の祖父、深田良矩^{よしのり}氏が住吉町にて「旅館 蔦茂」を創業
- 1947年 空襲で全焼した旅館を父の正矩^{まさのり}氏が再興。「料理旅館 蔦茂」として再開
- 1995年 正雄氏が社長に就任
- 2013年 創業100年を迎える
- 2018年春 新店がオープン予定

氣にとっても懂れて、東京に進学した後に渡米しました。

しかし、アメリカのホテルで働いた後、帰国して名古屋に戻ると、地元の人がとても温かく迎え入れてくれました。さらに、会社の経営状況が悪い時には大勢の友人たちが助けてくれ、地域の付き合いを大切にすることが、名古屋の強みだと感じました。

市の中心部である栄エリアは当時、繁華街として発展する裏で、違法風俗や麻薬、暴力団や暴走族など、数々の社会的な問題もありました。私は、地域のみんなに担ぎ上げられるかたちで、町おこし活動を始めました。

地域を変えるには「若者・変わり者・よそ者」を集める必要があると考え、音楽祭などのイベントを企画しました。数多くの企業が協賛金などを支援してくれ、音楽祭は大成。毎年の恒例行事となりました。

イベント活動を通して、バラバラだった地域が一つになり、地域

にコミュニティができてきました。すると、困った時には助け合え、犯罪に目を光らせることもでき、それ自体が「セキュリティ」になったのです。名古屋の発展の背景には、こうした地域のつながりがあつたのだと思います。

経営や町おこしをする中でお手本したのが宗春の精神です。『温知政要』の中で特に大事だと思ふのは、「規制緩和」と「まあええがや」の精神。この考え方は今の政府にも必要ですね。



2007年から毎年開催している「栄ミナミ音楽祭」の開会式で、河村たかし名古屋市長（左）とともに挨拶する深田社長（写真は2016年に撮影）。

名古屋は日本全国の文化の発祥地

法律が増えたと国民の活動が縛られ、経済が回らなくなり。ルールではなく、徳で世の中が回るのいいと思います。

このように、名古屋は世界を牽引できる経済力を持った場所ですが、名古屋人の多くは外に向けて積極的のアピールしようとしません。河村たかし市長はよく「ニューヨーク、ロンドン、名古屋〜！」と言っています。私も名古屋は日本一、世界一の都市だと思っています。

江戸時代の大名の8割は織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の家来だったので、愛知や岐阜の出身でした。ここは日本全国の文化の発祥地だったので。愛知の人は「全部ここから始まったんだがや〜」と自信を持っています。

（談）

「名古屋は今も昔も世界一！」

名古屋で100年続く老舗料亭「蔦茂」の社長に、名古屋が持つ底力について聞いた。



料亭 蔦茂 代表取締役社長

深田正雄

（ふかだ・まさお）

1948年、名古屋市にある料亭の一人息子として生まれる。一橋大学卒業後、単身渡米。ホテルの支配人などを歴任。帰国後、森島羅紗店社長を経て、蔦茂社長に就任。異業種交流組織・名古屋経営研究会会長、栄ミナミ地域活性化協議会会長などを歴任。

名古屋の経済発展は、徳川家康が今の名古屋の地域を「経済特区」として規制緩和し、商業と遊びの要所にしたことから始まりました。街の中心に商人が住み、その周りに武士や職人が住みました。

武士はここで職芸、つまりアルバイトをしてお金を稼いでもいいことになっていました。多くの武士は寺子屋を開き、子供たちに『論語』を中心とした道徳教育をしました。お陰で子供は親孝行になり、徳も上がり、おまけに識字率も、世界一の水準まで上がったのです。

そのため、文学も流行り、シナリオが読めるようになったので芸文化も花開きました。さらにすごいことに、庶民がからくり時計・道具などの製造指図書を読めるようになったのです。機械り機などのモノづくりが集約され、今の自動車産業などにつながりました。

当時、尾張（愛知県西部）の年

貢（税金）は江戸よりずっと低く、庶民もみんなリッチでした。楽市・楽座のおかげで交易も非常に盛んで、商人は織物、酒、材木など衣食住に必要な材料を江戸に大量に売り、稼いだ金で歌舞伎や浄瑠璃などを楽しみました。経済が非常によく循環し、名古屋の街は空前の発展を遂げました。経済の好循環はその後、約260年続いたんです。

このように、家康の時代から尾張には「金を稼いでどんどん使え」という文化があり、それを徹底したのが徳川宗春でした。名古屋には今でも、「よいことに金を使うことは美德である」という考え方が根付いています。それは宗春の影響が大きいでしょう。

宗春精神で町おこしに成功

ただし名古屋には、よそ者に対して排他的な面もあります。学生時代の私はそんな雰囲気が好きになれず、アメリカから来た進駐軍の人々のオープンな雰囲気